



## 平成25年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月11日

上場会社名 株式会社 中北製作所

上場取引所 大

コード番号 6496 URL <http://www.nakakita-s.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中北 健一

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役・管理部門管掌 並びに経理部長 (氏名) 大平 文人

TEL 072-871-1331

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日

平成25年2月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年5月期第2四半期の業績(平成24年6月1日～平成24年11月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第2四半期	9,208	△14.1	320	△66.4	416	△59.6	212	△64.7
24年5月期第2四半期	10,720	△4.8	955	△5.2	1,031	△2.2	602	6.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第2四半期	11.10	—
24年5月期第2四半期	31.48	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年5月期第2四半期	23,506	18,296	77.8	955.65
24年5月期	24,791	18,359	74.1	958.88

(参考) 自己資本 25年5月期第2四半期 18,296百万円 24年5月期 18,359百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	10.00	—	15.00	25.00
25年5月期	—	7.50	—	—	—
25年5月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年5月期の業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	△18.9	450	△74.3	630	△66.9	380	△63.6	19.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年5月期2Q	19,164,000 株	24年5月期	19,164,000 株
25年5月期2Q	17,982 株	24年5月期	17,506 株
25年5月期2Q	19,146,313 株	24年5月期2Q	19,146,907 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、世界経済・為替相場変動等の様々な不確定要因により、予想数値と異なる可能性があります。

なお、詳細は四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) セグメント情報等 .....	8
(7) 重要な後発事象 .....	8
4. 補足情報 .....	9
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国経済において緩やかな回復傾向があるものの、欧州の金融不安が長期化し、これまで世界経済を牽引してきた中国等の新興諸国においても経済成長の減速傾向が認められ、また、中東の地政学的リスク等もあり、先行きの見通しは、依然として不透明な状況であります。

わが国経済は、復興需要を背景として緩やかな回復の動きが見られたものの、為替の円高傾向の定着が企業の国内生産や輸出に与える影響は大きく、世界経済の減速懸念もあり、先行きの見通しは、予測しがたい状況にあります。

このような経営環境にあつて当社は、国内・国外の造船所等に積極的な営業活動を展開しました。また、ガスタービン用バルブの受注にも積極的に取り組み、幅広く顧客訪問することにより、既存の発電プラントの整備用バルブやメンテナンス関連の部品の受注にも注力いたしました。しかしながら、円高傾向の定着並びに競争激化による受注価格の低下や造船市況の低迷による影響は大きく、受注、生産並びに利益率のそれぞれにおいて予想していることとはいえ厳しい環境にあります。

当第2四半期累計期間における受注高は、8,408百万円(対前年同期比13.2%減)となり、1,278百万円前年同期を下回りました。品種別に見ますと、自動調節弁4,163百万円、バタフライ弁2,318百万円、遠隔操作装置1,926百万円となり、対前年同期比では、それぞれ172百万円減、452百万円減、653百万円減で主に船舶関連の受注低迷が大きく影響した結果となりました。

売上高では、9,208百万円(対前年同期比14.1%減)となり、1,511百万円前年同期を下回りました。品種別では、自動調節弁4,770百万円、バタフライ弁2,440百万円、遠隔操作装置1,998百万円となり、自動調節弁については前年同期を上回りましたが、バタフライ弁、遠隔操作装置については前年同期を下回る実績となりました。また、輸出関連の売上高は、円高環境での受注悪化の影響を受け、前年同期を224百万円下回る1,886百万円にとどまりました。

この結果、当第2四半期累計期間末の受注残高は期首に比べて800百万円減の10,293百万円となりました。

利益面におきましては、主に船舶関連の受注採算の悪化のなか、経常利益は416百万円(対前年同期比59.6%減)となり、さらに特別損失として、投資有価証券評価損53百万円等を計上した結果、四半期純利益では212百万円(対前年同期比64.7%減)となり、いずれも前年同期を下回りました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ1,285百万円減少の23,506百万円となりました。

これは、現金及び預金が1,410百万円減少し、売上債権が売上の減少や回収の進展により845百万円、棚卸資産が556百万円、有形固定資産が110百万円減少しましたが、有価証券が1,801百万円増加したこと等が主要な要因であります。

負債の部では、仕入債務が858百万円減少し、未払法人税等が208百万円減少したこと等により、前事業年度末と比べ1,222百万円減少の5,209百万円となりました。

純資産の部では、四半期純利益による利益剰余金の増加が212百万円あったものの、配当金の支払等により、前事業年度末と比べ62百万円減少の18,296百万円となりました。

当第2四半期累計期間のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは主として、税引前四半期純利益が357百万円(対前年同期比65.4%減)であり、減価償却費203百万円(対前年同期比8.2%減)、売上債権の減少による収入845百万円(前年同期は売上債権の増加による94百万円の支出)、棚卸資産の減少による収入556百万円(前年同期は棚卸資産の増加による127百万円の支出)があった一方、仕入債務の減少による支出858百万円(前年同期は仕入債務の増加による243百万円の収入)、法人税等の支払額338百万円(対前年同期比23.0%減)があったことにより、777百万円の収入(対前年同期比10.7%増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは主として、定期預金の減少による収入100百万円(前年同期比75.0%減)、有価証券の償還による収入499百万円があった一方、有価証券の取得による支出1,501百万円(対前年同期比37.0%増)があったことにより、1,000百万円の支出(対前年同期比27.6%減)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは主として、配当金の支払等により287百万円の支出(対前年同期比25.0%減)となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年5月期の業績予想は、平成25年1月7日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」のものと変更なく、売上高170億円、営業利益4億5千万円、経常利益6億3千万円、当期純利益3億8千万円の見通しとさせていただきます。国内外の海運・造船市況は依然低迷が続くなかで船舶の過剰感もあり、下期も大幅な受注の回復は期待しがたい状況であります。このような厳しい受注環境のなか、価格競争力をつけるため工場再編プロジェクトをはじめとする原価低減活動やこれまで顧客から信頼を得ている品質の維持・向上のための技能伝承に取り組み、積極的な営業活動で需要の掘り起こしに注力することにより年間計画の達成を目指す所存であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社は法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これにより損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,624,099	3,213,244
受取手形及び売掛金	7,860,186	7,014,506
有価証券	499,688	2,301,531
商品及び製品	1,062,010	751,632
仕掛品	1,452,882	1,290,341
原材料及び貯蔵品	1,541,270	1,457,638
その他	836,565	751,662
貸倒引当金	△39,470	△35,270
流動資産合計	17,837,233	16,745,288
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,551,106	1,551,106
その他(純額)	2,130,653	2,020,302
有形固定資産合計	3,681,759	3,571,408
無形固定資産		
	110,834	69,742
投資その他の資産		
投資有価証券	2,796,310	2,762,143
その他	368,035	360,067
貸倒引当金	△2,496	△2,309
投資その他の資産合計	3,161,849	3,119,901
固定資産合計	6,954,444	6,761,052
資産合計	24,791,678	23,506,340
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	204,820	176,683
買掛金	3,031,426	2,201,558
賞与引当金	237,000	235,000
製品保証引当金	125,000	117,500
未払法人税等	361,678	152,983
その他	392,254	293,417
流動負債合計	4,352,179	3,177,142
固定負債		
長期借入金	1,850,000	1,850,000
退職給付引当金	117,607	72,927
役員退職慰労引当金	48,730	45,160
資産除去債務	34,830	35,126
その他	29,069	29,069
固定負債合計	2,080,237	2,032,283
負債合計	6,432,416	5,209,425

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,150,000	1,150,000
資本剰余金	1,479,586	1,479,586
利益剰余金	15,799,744	15,724,994
自己株式	△8,603	△8,808
株主資本合計	18,420,728	18,345,773
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△61,467	△48,857
評価・換算差額等合計	△61,467	△48,857
純資産合計	18,359,261	18,296,915
負債純資産合計	24,791,678	23,506,340

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
売上高	10,720,506	9,208,926
売上原価	8,859,350	8,059,253
売上総利益	1,861,156	1,149,672
販売費及び一般管理費	906,039	829,040
営業利益	955,116	320,632
営業外収益		
受取利息	23,212	33,016
受取配当金	20,018	20,279
不動産賃貸料	36,785	40,163
為替差益	1,691	4,573
雑収入	7,525	7,970
営業外収益合計	89,233	106,002
営業外費用		
支払利息	9,854	9,062
雑損失	2,555	1,054
営業外費用合計	12,409	10,116
経常利益	1,031,940	416,518
特別損失		
投資有価証券評価損	—	53,163
その他	—	6,241
特別損失合計	—	59,404
税引前四半期純利益	1,031,940	357,114
法人税等	429,287	144,667
四半期純利益	602,653	212,447



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,031,940	357,114
減価償却費	222,181	203,853
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,153	△4,387
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,000	△2,000
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△2,500	△7,500
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△44,392	△44,679
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△3,570
受取利息及び受取配当金	△43,231	△53,295
支払利息	9,854	9,062
有形固定資産除却損	1,378	837
投資有価証券評価損益(△は益)	—	53,163
売上債権の増減額(△は増加)	△94,666	845,679
たな卸資産の増減額(△は増加)	△127,082	556,551
前渡金の増減額(△は増加)	6,000	6,000
仕入債務の増減額(△は減少)	243,209	△858,004
その他	△96,530	11,712
小計	1,110,315	1,070,538
利息及び配当金の受取額	41,621	54,556
利息の支払額	△9,745	△8,979
法人税等の支払額	△440,367	△338,870
営業活動によるキャッシュ・フロー	701,823	777,244
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	400,000	100,000
有価証券の取得による支出	△1,096,419	△1,501,862
有価証券の償還による収入	—	499,527
投資有価証券の取得による支出	△504,810	△300
有形及び無形固定資産の取得による支出	△183,333	△91,631
その他	1,951	△6,638
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,382,612	△1,000,904
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△382,926	△287,111
自己株式の取得による支出	—	△205
財務活動によるキャッシュ・フロー	△382,926	△287,316
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,063,715	△510,977
現金及び現金同等物の期首残高	3,377,801	3,523,787
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,314,086	3,012,810

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社は、バルブ及び遠隔操作装置製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

1. 生産実績

(単位：千円)

期 別	24年5月期第2四半期 (23/6~23/11)		25年5月期第2四半期 (24/6~24/11)		24年5月期 (23/6~24/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	3,893,472	36.2	4,572,658	51.8	7,738,690	36.7
バタフライ弁	3,651,453	34.0	2,333,774	26.5	7,241,051	34.4
遠隔操作装置	3,207,670	29.8	1,911,685	21.7	6,086,736	28.9
合 計	10,752,595	100.0	8,818,117	100.0	21,066,477	100.0

2. 受注状況

受注高

(単位：千円)

期 別	24年5月期第2四半期 (23/6~23/11)		25年5月期第2四半期 (24/6~24/11)		24年5月期 (23/6~24/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	4,336,059	44.8	4,163,504	49.5	8,689,969	49.6
バタフライ弁	2,771,147	28.6	2,318,238	27.6	4,634,211	26.5
遠隔操作装置	2,579,711	26.6	1,926,467	22.9	4,191,290	23.9
合 計	9,686,917	100.0	8,408,209	100.0	17,515,470	100.0

受注残高

(単位：千円)

期 別	24年5月期第2四半期 (23/11)		25年5月期第2四半期 (24/11)		24年5月期 (24/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	4,398,368	32.5	4,329,184	42.1	4,935,904	44.5
バタフライ弁	5,157,534	38.2	3,328,632	32.3	3,450,759	31.1
遠隔操作装置	3,962,200	29.3	2,635,340	25.6	2,707,210	24.4
合 計	13,518,102	100.0	10,293,156	100.0	11,093,873	100.0

3. 販売実績

(単位：千円)

期 別	24年5月期第2四半期 (23/6~23/11)		25年5月期第2四半期 (24/6~24/11)		24年5月期 (23/6~24/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	3,880,823	36.2	4,770,224	51.8	7,697,197	36.7
バタフライ弁	3,644,972	34.0	2,440,365	26.5	7,214,811	34.4
遠隔操作装置	3,194,711	29.8	1,998,337	21.7	6,061,280	28.9
合 計	10,720,506	100.0	9,208,926	100.0	20,973,288	100.0
うち輸出高	2,110,919	19.7	1,886,051	20.5	4,577,196	21.8